

総合型選抜 2026 年度過去問題 看護学科

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

年収 2 千万円世帯が最幸福 お金・年齢・仕事・結婚と「幸福度」の関係

— 略 — 何が私たちに幸せにして、不幸せにするのか。「幸福の経済学」という統計的なアプローチで幸福について考える試みがある。国や研究者は継続的な大規模アンケートをもとに、人々の幸福度を測ることができるようになった。幸福のヒントを専門家に聞いた。

■お金

お金がいくらあれば幸せを実感できるのか。青山学院大学の亀坂安紀子教授は言う。「物がなくて食べ物にも困る状態は、幸せではありません。これは頑健な研究結果として理解されています」では、家があって、3食を食べられるくらいお金があれば、幸せなのか。「たくさん稼いでも、長時間労働を強いられたり、過労死不安を抱えたり、パワハラにあったりしたら幸せとは言えません」(亀坂教授)— 略 —

ノーベル経済学賞を受賞したプリンストン大学のダニエル・カーネマン名誉教授らは 2010 年の研究で、「収入が多くなるほど、幸せ度は高くなるが、年収 6 万～9 万ドル以上になると幸福度が上昇しなくなる」と発表、「幸せになるには、約 1 千万円まで稼げばいい」と広く知られるようになった。だが、23 年にカーネマン名誉教授らは研究結果を覆した。年収 1 千万円以上になっても、幸福度は伸び続けることがわかった。①なぜ結果が変わったのか。 — 略 —

「幸福度が高い人は、お金があればあるだけ幸せになります。一方、お金があるけれど幸福度が低い人は、憧れの車を買ったとしても、高ストレスを抱えているため、素直に喜べません。あまりにも忙しくて幸福度が低く、お金があっても旅行に行く時間もないと嘆く人もいるでしょう」(佐藤教授) — 略 —

■年齢

幸福の研究では、人生で幸福度が低下する時期を明らかにした。中年期までの人生の幸福度グラフ(図1)を見てみよう。未婚既婚、男女を問わず、年代が上がるごとに幸福度は下がっていく。亀坂教授が解説する。「年をとると、次第に幸福度が低下するのは、他国でも共通します。子育てや教育費の負担、仕事の責任などが増すため、50代くらいまでは幸福度が低下することが多いです」だが、下がった幸福度は回復するという。「50代以降は子育て負担がなくなり、退職して仕事のストレスから解放されて、幸福度が再び高まります」(亀坂教授)

佐藤教授も話す。「若い頃に想像していた大人の姿と、50歳前後の実際の自分との間にギャップを感じて、幸福度が下がりますが、年齢を重ねて自分を受け入れることで幸福度が回復します」 — 略 —

■仕事

仕事はどうだろう。熱意を持って仕事をしているけれど、年収が低い。仕事に興味がないけれど、年収が高い。どっちが幸せか。内閣府によると、やりがいに関わらず、年収が高いほど「雇用環境と賃金」の満足度は高まる。 — 略 —

「②仕事の幸福度は、年収だけでは測れません。利他性や人間関係に左右されるのです」(亀坂教授)

図1

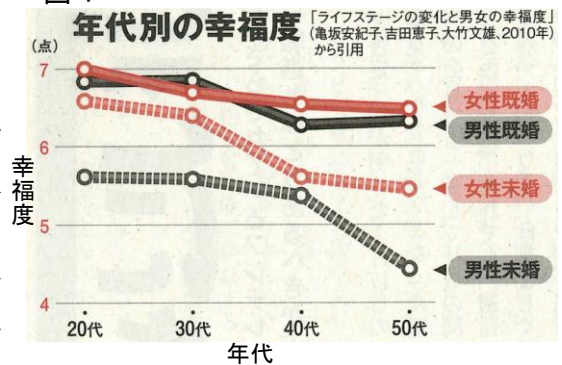
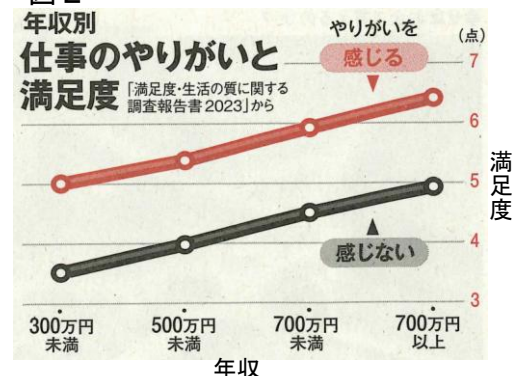


図2



出世したくない人が増えていることが話題だが、管理職についてもデータが集まっている。佐藤教授は言う。

「私の研究では、管理職に昇進 1～3 年後まで満足度は上がりませんでした。昇進により、男女とも年収が増加しましたが、所得の満足度は上昇しません。業務量も責任も増えるため、所得の増加の効果が相殺されていると考えます。女性の管理職は、余暇時間と仕事の満足度が低下し、昇進 2 年後の主観的な健康度は悪化しました。男性の健康度も悪化しています」

改善策が見えてくる。

「管理職の負担にふさわしい報酬を出さなければなりません。業務量、労働時間を軽減させなければなりませんし、女性が管理職として働く環境を整えなければなりません」 — 略 —

幸福の経済学から何が見えるか。亀坂教授は言う。

「日本は『無理ゲー』社会です。まともに働いてもゲームをクリアできません。共働きでも女性が 8 割以上の家事負担をしている家庭も多いです。女性がキャリアを続けながら家庭も築いて子どもも育てることが無理に近いんです」

幸せのヒントは。

「脱出できる環境を作ることが大事です。いざというときにクリアできる条件を整えておけば生き残れると思います。私も病気がちだった子どもが入院するたびに、仕事を続けられないかとも思いましたが、大学教員ができなくなったら、公認会計士の資格を持っているから会計事務所でパートで働こうと思えたから、生き延びることができたと思います。これは無理ゲーかとも思ったら、他のゲームに切り替えたり、ゲームのやり直しができる社会を築くことが大事です」(亀坂教授)

いざというときに頼れる先を用意したほうがいいことは、データにも表れている。

「内閣府の調査でも、困ったときに頼りになる人が 5 人以上いる人は将来の不安が少ないことがわかっています。所得が低くても、周りに支えてくれる人たちがいれば幸福度は高まります」(亀坂教授)

佐藤教授は、幸福度の解釈には注意が必要だと話す。「幸福度は今の日本社会を反映する指標であり、いまの結果が幸せの条件ではありません。今は子どものいない既婚女性の方が、子どものいる既婚女性より幸福度が高いですが、社会が変われば、子どものいる既婚女性のほうが幸福度が高くなると思います」

幸せになるには三つの要素が必要だという。

「③お金、健康、豊かな人間関係です。 — 略 —」(佐藤教授)

(出典：年収 2 千万円世帯が最幸福 お金・年齢・仕事・結婚と「幸福度」の関係,2025 年 2 月 17 日 週刊 AERA 一部加筆と文章の一部を省略している。承諾番号「26-0371」朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。)

問 1 下線①の結果が変わった理由は、調査対象の分類を変えたためである。下線①以降の文章を参考に、どのように分類したと考えられるかを 50 字以内で述べなさい (字数には句読点を含む)。

問 2 図 2 のグラフから、亀坂教授は仕事の満足度を幸福度に読み替えて、下線②のように述べている。グラフのどの部分に着目したのか、図 2 のグラフから読み取り、100 字以内で述べなさい (字数には句読点を含む)。

問 3 下線③が幸せになる 3 つの要素である理由について、あなたの考えを 500 字以内で述べなさい (字数には句読点を含む)。